

『ゆっくりズムのまち桐生』の着実な実現について（改訂継続）

桐生市では、「桐生市環境先進都市将来構想」において、①スローモビリティが活躍するまちづくり②市民の誰もが安心して暮らし、環境にやさしいライフスタイルを実践することを掲げています。生活の在り方として「ゆっくりズムのまち」を提案しているところですが、市民からは「ゆっくりズム」の具体的な姿は、なかなか見えづらい状況です。昨年度の提言において、『ゆっくりズムのまち』づくりに取り組む理由は、地震や気象災害など様々な不幸に対してよりレジリエントな地域を作り出しておくことと述べたところですが、そのためには、桐生市として重点取り組み事項として取り上げられている（1）再生可能エネルギーの導入、（2）省エネルギー型のまちづくり（3）自立分散型エネルギーシステムの構築と合わせて、①水 ②食料 ③エネルギーについて、少しでも独立性が高い地域をあらかじめ作っておくことが必須であると考えます。これまでは、経済成長に伴う施設や事業の拡大を前提とした社会体制の中で生活することが当たり前の時代でした。しかし、今後の災害が多発し、また人口減少による収縮が起こる社会において、より幸せに生きるためには、市民が日常生活における価値観を変えないと難しいと思います。それを実現するのが「ゆっくりズム」ではないでしょうか。

そこで、日常の生活の中において、これまでの価値観にとらわれずに省エネルギー、省資源、幸福度の向上に資するような活動を「ゆっくりズム」活動として定義して、「見える化」してゆく事業に市として取り組むことを提言したいと思います。例えばこの度、桐生市では、「SDGs パートナー制度」をつくり、市とともにSDGsに取り組む企業・団体を募集していますが、市内で行われる環境に関する行事（※）等の機会に、パートナー団体や市民に「ゆっくりズム」と考えられる日常の活動を具体的に示す場を提供し、市民が様々な「ゆっくりズム」を目に見える形で認識できるようにしては如何でしょうか。桐生商工会議所としても会員事業所に積極的にSDGsパートナーとなることを推奨しますので、桐生市としても環境先進都市将来構想の中で予算をとり、「ゆっくりズム」を具現化する活動を実践していただくようお願いいたします。

※アースデーin桐生、あつまれ！SDGs！、まちの先生見本市、「ゆっくりズムのまち体感フェア」、社会実験など

桐生市からの回答

「ゆっくりズムのまち桐生」については、これまで視覚的に認知度を高めるロゴマークの作成や、各種イベントにおける啓発、生き生き市役所出前講座の実施などにより、市民への普及啓発や実践の呼びかけを行ってまいりました。

また、令和6年度には、新たな取組として、市民や事業者が日々実践している取組やアイデアを募集する「ゆっくりズムのまち桐生アイデアコンテスト」を実施するなど、「ゆっくりズム」を広める取り組みを推進しているところです。

「ゆっくりズム」は捉え方が難しいところがあり、それぞれの立場で考え方も異なるこ

とから、その本質がエネルギーの消費や環境負荷を最小限に抑えつつ、物の豊かさよりも心の豊かさを重視するような価値観の転換や行動変容にあることを分かりやすく伝え、市民や事業者等が環境負荷の低減と幸福感の向上が両立できるよう、各種イベントやSDGsパートナー登録制度など様々な機会を活用し、分かりやすく伝えることで理解促進を進めてまいります。

[回答担当] 市民生活部SDGs推進課ゆっくりズムのまち桐生推進担当